
eセールスマネージャーと AzureADとのSAML連携設定手順書

ソフトブレン株式会社

効率化の最後の聖域へ

 **eセールスマネージャーなら営業が変わる!**
SOFTBRAIN Co.,Ltd.



<eセールスマネージャーRemixとAzureADとのSAML連携での前提条件>

eセールスマネージャーRemixとAzureADとのSAML連携をされる場合、eセールスマネージャーRemixが「**R5.3.14.0**」以上である必要があります。
「**R5.3.14.0**」未済の場合、事前にeセールスマネージャーRemixのリビジョンアップを実施ください。

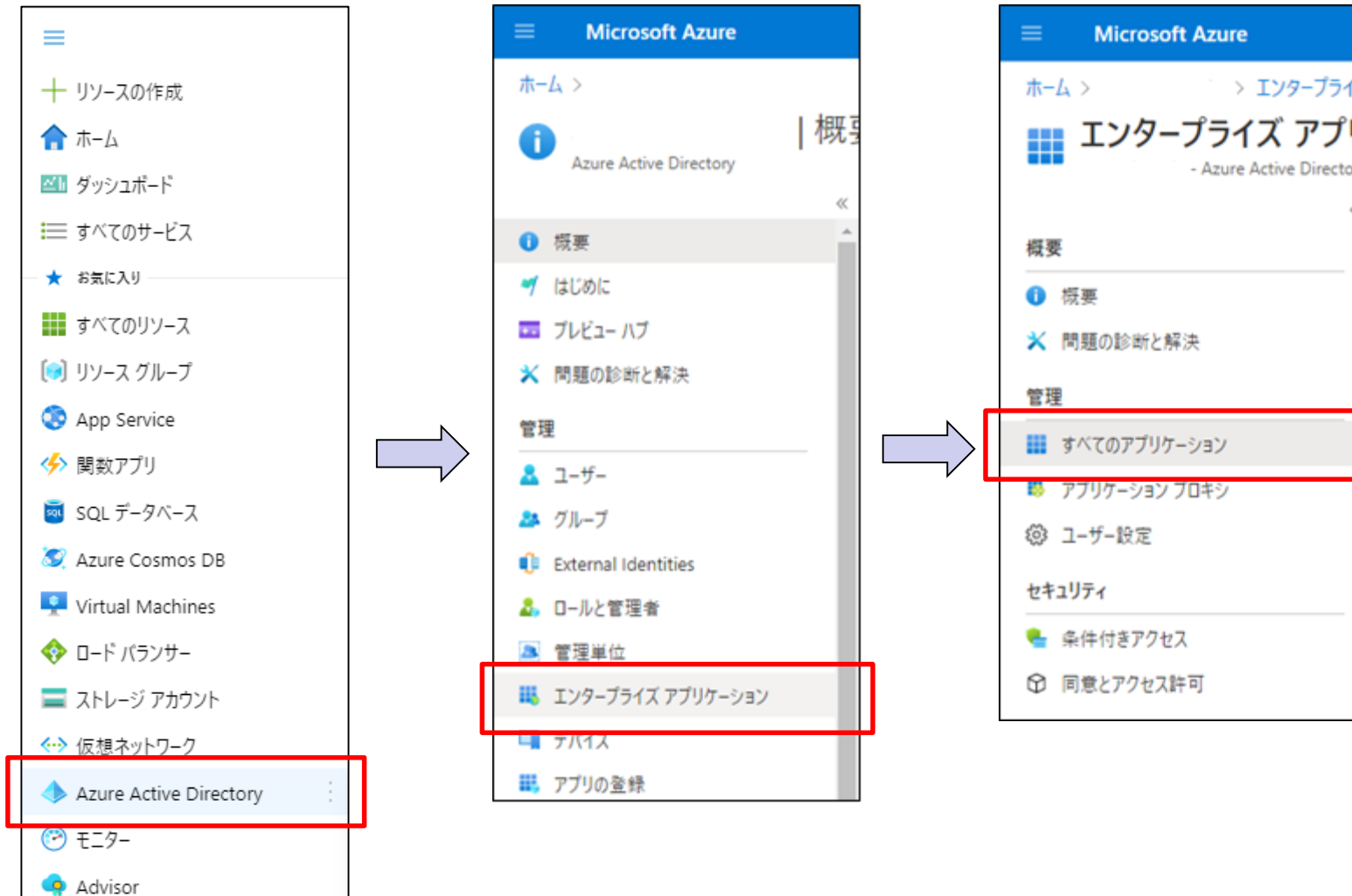
<注意事項>

- ・スマートフォン、タブレットでのeSMアプリ版はクライアント証明書認証には対応していません。

eセールスマネージャーRemix AzureADとのSAML設定手順

<AzureAD側の設定>

- ① [Azure Portal](#) の左側のウィンドウで、**[Azure Active Directory]** を選択します。
[エンタープライズ アプリケーション] を選択後 **[すべてのアプリケーション]** を選択します。



eセールスマネージャーRemix AzureADとのSAML設定手順

<AzureAD側の設定>

②ウィンドウの上部の [新しいアプリケーション] を選択します。



③[検索] ボックスに「E Sales Manager Remix」と入力します。
結果一覧から [E Sales Manager Remix] を選択し「名前」を適宜編集し「作成」をクリックします。

The first screenshot shows a search box containing 'E Sales Manager Remix'. Below it, there are two search results: 'フェデレーション SSO' and 'プロビジョニング中'. A red dashed arrow points from the search box to the first result, 'E Sales Manager Remix' by 'ソフトブレイン株式会社'. The second screenshot shows the configuration page for 'E Sales Manager Remix'. The '名前' (Name) field is highlighted with a red box and contains 'E Sales Manager Remix'. Other fields include '発行元' (Softbrain株式会社), 'プロビジョニング' (自動プロビジョニングはサポートされていません), 'シングルサインオンモード' (SAMLベースのサインオン), and 'URL' (http://www.softbrain.co.jp/). A red dashed arrow points from the '名前' field to the '作成' (Create) button at the bottom.

<AzureAD側の設定>

- ④ Azure Portal の **E Sales Manager Remix** アプリケーション統合ページで、**[シングルサインオン]** を選択し、**[SAML]** を選択します。

ホーム > E Sales Manager Remix

E Sales Manager Remix | シングルサインオン

エンタープライズアプリケーション

概要

デプロイ計画

管理

- プロパティ
- 所有者
- ロールと管理者 (プレビュー)
- ユーザーとグループ
- シングルサインオン**
- プロビジョニング
- セルフサービス

シングルサインオン方式の選択 判断に役立つヘルプの表示

無効
シングルサインオンが有効になっていません。ユーザーは、[マイアプリ] からアプリを起動できません。

SAML
SAML (Security Assertion Markup Language) プロトコルを使用した、アプリケーションに対する多機能かつセキュリティで保護された認証。

<AzureAD側の設定>

⑤SAMLによるシングルサインオンのセットアップの[基本的なSAML構成]の[編集]を選択します。

SAML によるシングルサインオンのセットアップ

以下をお読みください [構成ガイド](#) E Sales Manager Remix を統合するためのヘルプ。

- 1** 基本的な SAML 構成 

識別子 (エンティティ ID)	必須
応答 URL (Assertion Consumer Service URL)	必須
サインオン URL	必須
リレー状態	省略可能
ログアウト URL	省略可能

- 2** ユーザー属性とクレーム 

givenname	user.givenname
surname	user.surname
emailaddress	user.mail
name	user.userprincipalname
一意のユーザー ID	user.userprincipalname

<AzureAD側の設定>

⑥ [基本的なSAML構成]より[識別子][応答URL][サインオンURL]を以下の通り設定し[保存]を選択します。

基本的な SAML 構成

識別子 (エンティティ ID) * ①
既定の識別子は、IDP-initiated SSO の SAML 応答の対象となります

既定

https://remix.softbrain.co.jp/xxxxxxxxx/

パターン: https://*.softbrain.co.jp

応答 URL (Assertion Consumer Service URL) * ①
既定の応答 URL は、IDP-initiated SSO の SAML 応答の宛先になります

既定

https://remix.softbrain.co.jp/xxxxx/xxxxx/esales-pc

https://remix.softbrain.co.jp/xxxxxxxxx/esales-bp

パターン: https://EXAMPLE.softbrain.co.jp/EXAMPLE

サインオン URL * ①

https://remix.softbrain.co.jp/xxxxxxxxx/esales-pc

パターン: https://EXAMPLE.softbrain.co.jp/easles-pc

リレー状態 ①

リレー状態を入力してください

ログアウト URL ①

ログアウト URLを入力してください

● 識別子 (エンティティ ID)

[識別子] に、eSMURLの「esales-pc」より前の部分を設定します。

例)

https://remix.softbrain.co.jp/xxxxx/esales-pc
がeSMURLの場合、
https://remix.softbrain.co.jp/xxxxx/を設定。

● 応答URL (Assertion Consumer Service URL)

[応答URL] に、eSMURLを設定します。

※PC版及びスマートフォン版の両方を連携する場合は、
両方のURLを設定する。

<例：PC版と連携する場合>

https://remix.softbrain.co.jp/xxxxx/esales-pc
がeSMURLの場合、
https://remix.softbrain.co.jp/xxxxx/esales-pc
を設定。

<例：スマートフォン版と連携する場合>

https://remix.softbrain.co.jp/xxxxx/esales-pc
がeSMURLの場合、
https://remix.softbrain.co.jp/xxxxx/esales-bp
を設定。

● サインオンURL

[サインオン URL] に、eSMURLを設定します。

例)

https://remix.softbrain.co.jp/xxxxx/esales-pc
がeSMURLの場合、
https://remix.softbrain.co.jp/xxxxx/esales-pc
を設定。

<AzureAD側の設定>

⑦SAMLによるシングルサインオンセットアップの[ユーザー属性とクレーム]の[編集]を選択します。

SAML によるシングル サインオンのセットアップ

以下をお読みください [構成ガイド](#) E Sales Manager Remix を統合するためのヘルプ。

- 1** 基本的な SAML 構成 

識別子 (エンティティ ID)	必須
応答 URL (Assertion Consumer Service URL)	必須
サインオン URL	必須
リレー状態	省略可能
ログアウト URL	省略可能

- 2** ユーザー属性とクレーム 

givenname	user.givenname
surname	user.surname
emailaddress	user.mail
name	user.userprincipalname
一意のユーザー ID	user.userprincipalname

<AzureAD側の設定>

⑧[追加の要求]の[値]が[user.mail]の[クレーム名]の値をコピーします。

※この値は後で使用する為、保存しておきます。

追加の要求	
クレーム名	値
http://schemas.xmlsoap.org/ws/2005/05/identity/claims/emailaddress	user.mail
http://schemas.xmlsoap.org/ws/2005/05/identity/claims/givenname	user.givenname
http://schemas.xmlsoap.org/ws/2005/05/identity/claims/name	user.userprincipalname
http://schemas.xmlsoap.org/ws/2005/05/identity/claims/surname	user.surname



<AzureAD側の設定>

⑨SAMLによるシングルサインオンのセットアップの[証明書(Base64)]の[ダウンロード]よりダウンロードします。

また[ログインURL]及び[ログアウトURL]の値もコピーしておきます。

※証明書及びログインURL、ログアウトURLは後で使用する為、保存しておきます。

3 SAML 署名証明書 編集

状態	アクティブ
拇印	[Redacted]
有効期限	2024/1/21 14:49:56
通知用メール	[Redacted]
アプリのフェデレーション メタデータ URL	https://login.microsoftonline.com/[Redacted]...
証明書 (Base64)	ダウンロード 2
証明書 (未加工)	ダウンロード
フェデレーション メタデータ XML	ダウンロード

4 E Sales Manager Remix のセットアップ

Azure AD とリンクするアプリケーションを構成する必要があります。

ログイン URL	https://login.microsoftonline.com/[Redacted] 3
Azure AD 識別子	https://sts.windows.net/[Redacted]
ログアウト URL	https://login.microsoftonline.com/common/wsfed... 4

[ステップ バイ ステップの手順を表示](#)

<AzureAD側の設定>

- ⑩ Azure Portal の **E Sales Manager Remix** アプリケーション統合ページで、**[ユーザーとグループ]** を選択し、**[+ユーザーまたはグループの追加]** を選択します。

The screenshot shows the Azure Portal interface for the 'E Sales Manager Remix' application. The left-hand navigation pane is visible, with the 'ユーザーとグループ' (Users and Groups) option highlighted with a red box. A red dashed arrow points from this menu item to the '+ ユーザーまたはグループの追加' (Add user or group) button in the top action bar, which is also highlighted with a red box. The main content area displays a search bar and a message: 'アプリケーションの割り当てが見つかりませんでした' (No assignments were found for this application).

<AzureAD側の設定>

- ⑪ [割り当ての追加]にて[ユーザー]を[ユーザー]選択画面より対象ユーザーを選択後[選択]ボタンを選択します。[割り当ての追加]にて[割り当て]ボタンを選択し、ユーザーが割り当てられたことを確認します。

※補足：本手順にて割り当てたユーザとeセールスマネージャーの社員を後述⑫の手順にて1:1で紐付けを行います。

ホーム > softbrain.co.jp > エンタープライズアプリケーション > E Sales Manager Remix > ユーザー

割り当ての追加

お客様の Active Directory プランレベルでは、グループを割り当てることができません。個々のユーザーをア...

ユーザー
選択されていません

検索

AP [redacted] 選択済み

KI [redacted] 選択済み

選択したアイテム

AP [redacted] 削除

KI [redacted] 削除

KO [redacted] 削除

割り当て

選択

E Sales Manager Remix | ユーザーとグループ
エンタープライズアプリケーション

+ ユーザーまたはグループの追加 編集 削除 資格情報の更新 列

アプリケーションは、割り当てられたユーザーのアクセス パネルに表示されます。これを表示しないようにするには、...

限初の 100 件を表示しています。すべてのユーザーとグループを検索するには、表示名を入力してください。

表示名	オブジェクトの種類
<input type="checkbox"/> AP [redacted]	ユーザー
<input type="checkbox"/> KO [redacted]	ユーザー
<input type="checkbox"/> KI [redacted]	ユーザー

ユーザー
3人のユーザーが選択されました。

割り当て

<eセールスマネージャーRemix側の設定>

⑫eセールスマネージャーRemixへ[管理者ユーザ]にてログインし、メニュー[部署・社員のメンテナンス]より[社員]をクリックし[登録情報の変更]ボタンより[社員変更]画面の[email]情報に該当ユーザのAzureAD上のメールアドレスを設定し[変更]を選択します。

※本設定は、全ての社員に対して対応が必要です。

尚、未設定のユーザはeセールスマネージャーへのログインができません。

The screenshot illustrates the workflow for updating a user's email address in the eSales Manager Remix system. It starts with the '部署・社員のメンテナンス' (Department & Employee Maintenance) menu, leading to '社員' (Employee), then '登録情報の変更' (Change Registration Information), and finally '社員変更' (Employee Change). The '社員変更' form shows the following fields:

- 社員番号 ※ (Employee ID): 00001
- 社員氏名 ※ (Employee Name): SAML連携テストユーザ1
- 社員氏名(かな) (Employee Name (Kana))
- 役職名 ※ (Position): 主任 (Manager)
- 部署名 ※ (Department): SAML連携テスト部門 (SAML Integration Test Department)
- 住所 (Address): 丁目, ハイフンなし, 都道府県市区町村以下住所, 建物名
- 電話番号 (Phone Number)
- 携帯番号 (Mobile Number)
- 電話番号3 (Phone Number 3)
- email (Email): [Redacted]

A red box highlights the email field, which contains a warning message: "現在、SAML認証の連携項目として使用しています。変更するとログインができなくなる可能性があります。" (Currently used as a SAML authentication linkage item. Changing it may result in the inability to log in.)

<eセールスマネージャーRemix側の設定>

- ⑬ <通常ユーザに管理者ログイン権限を付与する方法> を参照し、通常ユーザに管理者ログイン権限を付与します。

<通常ユーザに管理者ログイン権限を付与する方法>

通常ユーザに管理者ログイン権限を付与する方法については、以下をご参照ください。

<https://www.e-sales-success.jp/guide/remix/web/knowledge497.html>

ロールの作成方法については、以下をご参照ください。

<https://www.e-sales-success.jp/guide/remix/web/knowledge1340.html>

<ご参考>

通常ユーザに管理者ログイン権限を付与しない場合（※1）本対応は不要ですが、前項⑫と同様にeセールスマネージャーRemixの管理者ユーザにメールアドレスの設定（※2）を行ってください。
尚、通常ユーザに管理者ログイン権限を付与しない場合、管理者ユーザにメールアドレス設定を行わないと、eセールスマネージャーRemixへ管理者ログインが出来なくなりますのでご注意ください。

（※1） AzureAD側にeセールスマネージャーRemixの管理者ユーザに紐づくアカウントのご用意が必要です。

（※2） 管理者ログイン後の右上[管理者]-[社員詳細]の[登録情報の変更]にて設定します。

<eセールスマネージャーRemix側の設定>

- ⑭ eセールスマネージャーRemixに管理者ユーザとしてログインし[外部システムとの連携]より[SAML]を選択します。

The screenshot displays the SAML authentication configuration interface. The top navigation bar includes tabs for '外部システムとの連携', 'URL API', 'バッチ連携', 'Googleカレンダー連携', 'LDAP', 'SAML', and 'その他'. The 'SAML' tab is active. The left sidebar contains various system settings, with '外部システムとの連携' highlighted. The main content area is titled 'SAML認証設定' and includes a message: 'SAML認証の設定をします。'. Below this, there are checkboxes for 'PC版' and 'スマートフォン版'. A section titled '有効化' contains instructions on SAML authentication device settings and a list of four requirements. Further down, there are radio buttons for '携帯電話番号からのログインを許可する' (selected) and '携帯電話番号からのログインを許可しない'. A 'ユーザーID' dropdown menu is set to 'ユーザーID'. Below that, there are radio buttons for '連携項目は、SubjectステートメントのNameIdentifier要素にあります' and '連携項目は、Attribute要素にあります'. A text input field for '連携項目' is present. A message states: 'eセールスマネージャーRemix CloudにSAML認証での連携項目を設定します。'. At the bottom, there are input fields for '発行元(エンティティID)', 'IDプロバイダの証明書' (with a 'ファイル選択' button), 'IDプロバイダログインURL', and 'IDプロバイダログアウトURL'. A '設定完了' button is located at the bottom left of the configuration area.

<eセールスマネージャーRemix側の設定>

⑮[SAML認証設定]より以下の通り設定後[設定完了]を選択します。

SAML認証設定

1 SAML認証の設定をします。

PC版
 スマートフォン版

SAML認証の使用デバイスを設定します。
有効に設定した場合、以下の制限、または注意が必要です。

1.eセールスマネージャーRemix Cloudのログイン画面へのアクセスができなくなります。
2.ログイン画面にアクセスできないため、管理者ログイン権限を社員に付与するか、IDプロ
3.eセールスマネージャーRemix Cloudのログイン状態の保存設定は無効になります。(IDプ
4.携帯電話版はSAML認証に対応していません。

有効化

携帯電話版アクセス設定
 携帯電話版からのログインを許可する 携帯電話版からのログイン

1 携帯電話版はSAML認証に対応していないため、IDプロバイダでの認

連携項目

email

(連携項目は、SubjectステートメントのNameIdentifier要素にあります)

連携項目は、Attribute要素にあります

1 http://schemas.xmlsoap.org/ws/2005/05/identity/claims/emailaddress

1 eセールスマネージャーRemix CloudにSAML認証での連携項目を設定します。

発行元(エンティティID)

https://remix.softbrain.co.jp/xxx/

IDプロバイダの証明書

2 ファイル選択

C:\takepathe\Sales Manager Remix.cer

IDプロバイダログインURL

3 https://login.microsoftonline.com/252a8a31-486f-4501-9edf-9ce09df6da4a/saml2

IDプロバイダログアウトURL

4 https://login.microsoftonline.com/common/wsfederation?wa=wsignout1.0

設定完了

●有効化

連携対象を選択ください。

●連携項目

- ・「email」を選択
- ・「連携項目は、Attribute要素にあります」を選択
- ・AzureAD側で保存した★の値を設定

●発行元(エンティティID)

- ・eSMURLの「esales-pc」より前の部分を設定例)
https://remix.softbrain.co.jp/xxx/esales-pc
がeSMURLの場合、
https://remix.softbrain.co.jp/xxx/を設定。

●IDプロバイダの証明書

- ・AzureAD側でダウンロードした★をアップロード

●IDプロバイダログインURL

- ・AzureAD側で保存した★を設定

●IDプロバイダログアウトURL

- ・AzureAD側で保存した★を設定

eセールスマネージャーRemix AzureADとのSAML設定手順

⑮eセールスマネージャーのURLにアクセスし、ログインの確認を行います。

※PC版での確認の前に、スマートフォン版での確認を推奨いたします。

※連携設定を行ったユーザのAzureAD側のユーザメールアドレスとパスワードにてログインをします。

ログイン確認の際に「PC版」もSAML有効化した場合には、SAML設定ミス（URLなどの登録間違い、証明書の取り違いなど）により、ログインエラーとなる場合を想定し、PC版の管理者でのSAML設定画面はそのままに、スマートフォン版でのログイン確認を行う事をお勧めします。

エラーした場合には、PC版の管理者でのSAML設定画面をログアウトしていた場合、ログイン不能になりますのでご注意ください。

＜スマートフォン版のログイン確認イメージ＞



＜PC版のログイン確認イメージ＞

